

環 境 係

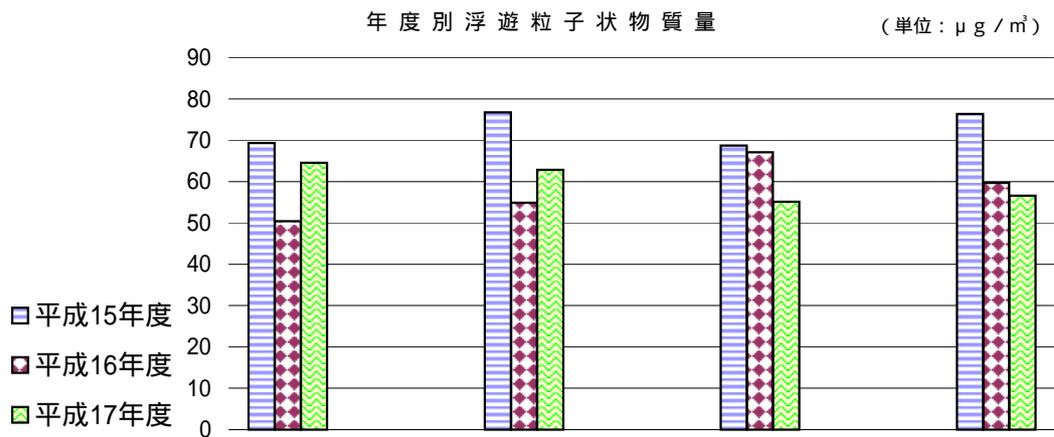
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成18年2月21日から同月24日まで

調査地点：市内4箇所

ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	水道事務所	市民会館	第二小学校
平成15年度	69.3	76.7	68.7	76.3
平成16年度	50.4	54.9	67.1	59.7
平成17年度	64.5	62.8	55.1	56.6

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査項目	市役所		水道事務所		市民会館		第二小学校	
	平成17年度	前年度	平成17年度	前年度	平成17年度	前年度	平成17年度	前年度
鉛	0.016	0.012	0.020	0.013	0.014	0.011	0.016	0.010
マンガン	0.029	0.024	0.044	0.031	0.025	0.021	0.027	0.025
バナジウム	0.004	0.005	0.004	0.005	0.004	0.005	0.004	0.005
全クロム	0.006	0.003	0.008	0.009	0.005	0.005	0.008	0.008

数値は、1日平均の3日間平均の量である。

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は100万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成18年3月20日

調査事業所数：11事業所（燃料使用量300ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(Wt%)
			平成17年度	前年度	
A	特A	1,000	0.06	0.06	0.8
B	"	300	<0.05	0.04	
C	A	500	0.07	0.11	
D	"	300	0.17	0.12	
E	"	800	0.07	0.05	
F	"	1,500	0.15	0.12	
G	"	800	0.08	0.12	
H	特A	1,200	0.06	0.11	
I	A	600	0.08	0.06	
J	"	600	0.17	0.13	
K	特A	300	0.10	0.08	

Wt%：質量パーセント、検出下限値0.05

(3) 二酸化窒素

調査日：平成18年2月2日・3日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成17年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.037	0.041	0.06
2	武蔵野橋南	0.048	0.055	
3	熊川内出	0.034	0.033	
4	第五ゲート前	0.041	0.044	
5	福生志茂南	0.028	0.034	
6	多摩橋北	0.028	0.033	
7	福生駅西	0.031	0.032	
8	福生加美美	0.030	0.033	
9	福生加美平	0.032	0.032	
10	福生市役所前	0.032	0.036	
11	武蔵野台北	0.030	0.030	
12	第二ゲート前	0.045	0.050	

数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部	0	0	0	3	3	2	8	12
区 北部	0	0	1	4	2	2	9	13
区 西部	0	0	4	4	3	5	16	14
区 南部	0	0	3	3	3	2	11	13
多摩北部	0	0	3	5	2	5	15	12
多摩中部	0	0	2	4	2	3	11	12
多摩西部	0	0	1	3	2	4	10	10
多摩南部	0	0	1	2	3	4	10	12
合計	0	0	15	28	20	27	90	98

多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道(雨水管)

PH(水素イオン濃度) : 環境基準 6.5~8.5 排水基準 5.8~8.6
 BOD(生物化学的酸素要求量) : 環境基準 2 mg/ℓ 排水基準 160 mg/ℓ
 SS(浮遊物質) : 環境基準 25.0 mg/ℓ 排水基準 200.0 mg/ℓ

ア 多摩川

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成17年度	8.6	8.7	8.2	8.6	8.9	8.4
	平成16年度	8.7	9.0	8.7	8.2	8.2	8.4
	平成15年度	9.1	8.4	8.3	7.4	8.9	9.5
BOD	平成17年度	0.8	0.6	ND	1.1	2.9	1.6
	平成16年度	1.0	1.0	0.3	1.2	1.8	1.9
	平成15年度	1.1	0.8	0.8	0.7	0.3	1.3
SS	平成17年度	2.0	1.5	2.0	ND	0.5	2.0
	平成16年度	1.0	4.0	ND	ND	1.0	ND
	平成15年度	5.0	2.0	1.0	1.5	0.5	2.0

イ 下の川

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成17年度	7.7	8.3	7.4	8.0	8.3	8.2
	平成16年度	7.8	7.8	7.6	7.8	7.5	7.8
	平成15年度	7.7	7.6	7.6	7.1	8.0	8.4
BOD	平成17年度	0.9	0.4	ND	0.8	2.4	1.7
	平成16年度	1.6	0.8	ND	2.8	1.5	1.9
	平成15年度	1.0	0.4	0.8	3.9	ND	1.6
SS	平成17年度	0.7	1.7	0.7	ND	1.0	4.0
	平成16年度	ND	1.0	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	0.7	ND	0.7	14.7	1.0	1.7

ウ 都市下水路

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成17年度	8.1	8.2	7.6	8.3	8.3	7.8
	平成16年度	7.7	8.0	7.9	7.8	7.7	8.1
	平成15年度	7.9	7.6	7.7	7.2	7.6	7.8
BOD	平成17年度	0.5	0.5	ND	0.8	2.3	1.4
	平成16年度	1.3	0.9	0.7	1.8	1.8	2.1
	平成15年度	9.2	1.5	1.0	6.4	7.6	1.8
SS	平成17年度	ND	ND	ND	ND	ND	1.0
	平成16年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	4.0	1.0	ND	140.0	2.0	1.0

エ 本町幹線

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成17年度	8.9	9.0	8.1	8.6	8.9	8.2
	平成16年度	8.0	8.4	9.2	9.2	8.8	9.2
	平成15年度	8.2	9.1	8.4	7.1	8.2	9.9
BOD	平成17年度	2.3	0.8	0.5	1.1	3.2	1.8
	平成16年度	2.4	1.0	1.3	1.8	1.9	5.8
	平成15年度	1.9	0.9	1.9	3.8	0.6	0.9
SS	平成17年度	6.0	2.0	1.0	2.0	ND	2.0
	平成16年度	7.0	330.0	ND	ND	ND	1.0
	平成15年度	2.0	2.0	1.0	130.0	ND	490.0

都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水
 基準値を超えているものは、色付けをしている。
 平成16年度は天候不順のため9月分を11月に、11月分を12月に測定
 ND：定量下限値未満

(2) 多摩川合同採水

採水年度	平成17年度		前年度	
	採水月日	6.2(木)	11.10(木)	6.3(木)
採水時間	午前11時30分		午前11時30分	
流量 m ³ /s	2.08	2.34	2.71	9.20
気温	21.2	17.0	25.9	17.5
水温	17.1	8.1	19.8	14.0
外観	無色	無色	無色	無色
臭気	無臭	無臭	無臭	無臭
透視度	>50	50<	>50.0	>50.0
PH(水素イオン濃度)	8.0	7.6	8.7	8.3
DO(溶存酸素) mg/ℓ	9.7	11.2	10.9	10.9
BOD(生物学的酸素要求量) mg/ℓ	1.2	0.9	1.9	2.0
COD(化学的酸素要求量) mg/ℓ	0.7	0.7	1.1	1.4
SS(浮遊物質) mg/ℓ	3	<1	<1	1
T-CN(シアン化合物) mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
Pb(鉛) mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH ₄ -N(アンモニア性窒素) mg/ℓ	0.03	<0.01	0.09	0.02
T-N(全窒素) mg/ℓ	1.09	1.32	1.26	3.50
PO ₄ -P(リン酸性リン) mg/ℓ	0.009	0.010	0.007	0.007
T-P(全リン) mg/ℓ	0.040	0.017	0.014	0.013
MBAS(陰イオン界面活性剤) mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素 mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1-ジクロロエチレン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1,2-ジクロロエチレン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1,1-トリクロロエタン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1,2-トリクロロエタン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1,3-ジクロロプロペン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
セレン mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌群数 MPN/100mℓ	2300	790	1400	170
カドミウム mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ヒ素 mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
総水銀 mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/ℓ	0.84	1.21	0.78	0.69
環境基準	水域類型A		水域類型A	

T-Crは16年度より調査項目より削除

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が16年度より調査項目に追加

(3) 地下水

測定日：平成17年8月31日

検査項目	測定地点										基準値
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/ℓ	6.0	3.8	2.0	11	8.8	6.5	5.8	2.9	3.8	3.1	10以下
塩素イオン mg/ℓ	4.7	9.4	3.0	17.4	8.0	10.0	6.2	3.9	5.9	3.1	200以下
過マンガン酸カリウム消費量 mg/ℓ	0.4	1.3	0.7	0.5	1.0	2.2	1.0	1.2	0.7	1.0	10以下
一般細菌 mg/ℓ	0	160	13	440	4	200	71	290	5	30	100以下
大腸菌群数	不検出	検出	検出	検出	不検出	検出	検出	検出	不検出	検出	検出されないこと。
鉄 mg/ℓ	<0.02	0.08	0.04	<0.02	<0.02	0.09	0.02	0.03	<0.02	<0.02	0.3以下
マンガン mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
P H	5.9	5.7	6.9	6.4	6.2	6.4	6.2	6.3	6.4	6.3	5.8～8.6
臭気	異常なし	異常でないこと。									
味	異常なし	異常でないこと。									
色度	<0.5	1.6	0.9	0.5	<0.5	1.8	0.6	0.8	0.9	<0.5	5度以下
濁度	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	2度以下
トリクロロエチレン mg/ℓ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
テトラクロロエチレン mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン mg/ℓ	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	0.3以下

基準値を超えているものは、色付けをしている。

地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成17年8月31日

単位：mg/ℓ (PHと水温を除く。)

検査項目	A工場		B工場		基準値
	平成17年度	前年度	平成17年度	前年度	
PH (水素イオン濃度)	7.0	6.9	7.2	7.3	5.8～8.6
PH測定時水温	24	21	24	22	40 以下
BOD (生物学的酸素要求量)	6.6	7.3	5.4	9.2	160
COD (化学的酸素要求量)	9.1	15	11	15	200
SS	29	80	82	84	200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
水銀、メチル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.01	0.01	<0.01	0.02	3
亜鉛含有量	<0.01	0.08	0.1	0.08	5
溶解性鉄含有量	0.12	0.26	<0.05	<0.05	10

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・交通騒音調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	12月13～14日	12月21～22日	12月27～28日	12月8～12月9日	12月15～16日
上り	27,126	12,192	10,794	5,070	13,062
下り	28,674	11,916	10,266	4,476	7,932
合計	55,800	24,108	21,060	9,546	20,994
前年度合計	55,038	24,774	21,492	9,702	21,000

都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル = d B)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	12月13～14日	12月21～22日	12月27～28日	12月8～12月9日	12月15～16日	
騒音 (LEQ)	昼間	73	71	71	67	68
	前年度	72	70	72	68	69
	夜間	74	68	70	64	67
	前年度	72	67	69	62	69
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

LEQ = 等価騒音レベル

(2) 航空機騒音調査

ア 測定場所 熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	744	565	163	16	102	85
5	962	789	157	16	101	84
6	808	621	164	23	107	90
7	615	490	98	27	101	86
8	1,123	869	222	32	103	87
9	716	549	122	45	102	87
10	816	644	161	11	103	86
11	710	552	138	20	102	85
12	662	514	112	36	101	84
17年1	858	708	124	26	101	84
2	792	618	168	6	101	83
3	975	790	164	21	101	84
合計	9,781	7,709	1,793	279		
前年度合計	9,929	7,598	2,081	250		
平均	815	642	149	23	102	85

dB：デシベル
WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	200	129	70	1	80	61
5	278	212	65	1	81	61
6	196	145	51	0	81	66
7	122	101	21	0	80	58
8	242	174	68	0	81	62
9	145	98	46	1	81	67
10	132	102	30	0	80	62
11	150	103	44	3	79	59
12	102	69	28	5	78	57
17年1	161	113	46	2	80	61
2	160	81	78	1	81	63
3	216	166	45	5	81	62
合計	2,104	1,493	592	19		
前年度合計	2,465	1,670	764	31		
平均	175	124	49	2	80	62

dB：デシベル
WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

(3) 環境騒音調査 市内29地点(46箇所)

測定日：平成18年3月22日(水)から同月24日(金)【昼間】

No	測定地点		騒音の大きさ(dB)			支配音
	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成17年度	前年度		
1	準工業	一般地域	48	55	60	一般音
2	準工業	一般地域	50	54	60	〃
3	第1種住居	沿道	71	75	70	自動車音
	第1種低層	後背地	51	52	55	〃
4	近隣商業	沿道	74	70	70	〃
	近隣商業	後背地	63	54	60	〃
5	第1種低層	一般地域	55	55	55	自然音
6	第1種住居	沿道	70	72	70	自動車音
	第1種低層	後背地	55	57	55	〃
7	近隣商業	沿道	77	76	70	〃
	第1種低層	後背地	56	56	55	〃
8	第2種低層	沿道	64	67	60	〃
	第1種低層	後背地	52	61	55	〃
9	第1種中高層	沿道	68	72	65	〃
	第1種低層	後背地	43	51	55	〃
10	第1種低層	後背地	52	54	55	一般音
	第1種中高層	沿道	55	63	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	67	69	70	〃
	第1種低層	後背地	51	50	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	52	53	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	53	58	60	〃
14	近隣商業	一般地域	49	51	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	51	55	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	74	73	70	〃
	第1種低層	後背地	53	56	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	52	51	55	〃
18	近隣商業	沿道	72	72	70	自動車音
	近隣商業	後背地	47	58	60	〃
19	第1種低層	一般地域	52	56	55	〃
20	第2種中高層	沿道	67	66	70	〃
	第1種中高層	後背地	52	50	55	一般音
21	商業	一般地域	67	68	65	自動車音
22A	商業	一般地域	59	63	65	〃
22B	商業	沿道	65	66	70	〃
	第2種低層	後背地	56	56	55	〃
23	第1種中高層	沿道	70	69	60	〃
	第1種低層	後背地	57	55	55	〃
24	準工業	一般地域	47	58	65	一般音
25	近隣商業	沿道	69	67	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	47	47	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	54	50	60	〃
27	工業	沿道	70	69	70	自動車音
	工業	後背地	51	52	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	50	47	60	〃
29	第1種住居	沿道	67	67	70	自動車音
	第1種住居	後背地	51	53	55	〃

後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

No. 9 及びNo. 10は平成16年度より調査地点を変更

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

現象	4	5	6	7	8	9	10	11	12	18年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染		1	4			2	5		2	1		6	21	24
アスベスト相談			2	3	6	10	7	3	3	3	4	4	45	0
水 質 汚 濁							1						1	0
土 壌 汚 染													0	0
騒 音・振 動	2		2	2	1		1				1		9	18
低 周 波 音													0	0
航空機騒音	4	7	4	3	35	22	4	45	0	0	4	1	129	86
地 盤 沈 下													0	0
悪 臭			2	1	1	2			3	2			11	8
雑 草		1	1	5	2	1	1						11	18
そ の 他	2	1	8	6	1	6	2	2	1	4	3		36	31
合 計	8	10	23	20	46	43	21	50	9	10	12	11	263	185

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 17年 度	前年度	区 分	平成 17年 度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	1	0
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	2	1	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	1
工 場 変 更 認 定	2	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	1	1
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	0	特 定 施 設 設 置 届	5	2
工 場 廃 止 届	0	0	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	1	2
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	15	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	21	15
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	4	0			

(3) 立ち入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 17年 度	前年度	区 分	平成 17年 度	前年度
工 場 認 可 関 係	2	1	苦 情 処 理	394	312
指 定 作 業 場 届 出 関 係	2	0	各 種 測 定	151	151
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	4	0			

5 環境行政・環境学習の推進

- (1) 福生環境市民会議等
 - ア ごみ減量プロジェクト
 - 第11回 雑がみ分別サンプル「立体ポスター」について、提案書・報告書について他
 - 第12回 代表について、人材について、報告書について、提案書について
 - 第13回 提案書について、ごみ減量プロジェクトの意味について
 - 第14回 喫煙マナーアップキャンペーンについて、提案書について他
 - 第15回 提案を受けての市の反応について他
 - 第16回 雑がみ分別袋について、ごみ収集車で流すテープについて他
 - 第17回 プロジェクトの進め方の確認について
 - 第18回 17回までのまとめ、今後のための各自の提案について他
 - 視 察 久喜宮代衛生組合視察
 - 第19回 雑がみ分別袋パイロット町会への当プロジェクトの係わり方について他
 - 第20回 雑がみ分別袋パイロット町会について、容器包装プラスチックの回収について他
 - 第21回 容器包装プラスチックの分別収集について他
 - イ 「人と動物の共生」福生市民会議
 - 第1回～第3回 鳩問題について
 - 第4回～第11回 犬問題について
 - ウ 福生エネルギー市民会議
 - 第1回 福生エネルギー市民会議発足式
基調講演「企業戦略から見る地域エネルギービジネスの可能性」
志賀隆氏（帝京大学経済学部教授）
 - 第2回 経過説明と事業化へのイメージ
 - 第3回 福生市のエネルギー構造について、使用量調査について
 - 第4回 視察について、事業所調査中間報告について
 - 第5回 市内事例のシミュレーションについて、CO₂削減計画について
 - 第6回 市民提案報告、「ESCOパンフ」「エネルギー事業概要」について
 - 第7回 環境フォーラムについて、今後について
 - エ 地域猫を考える福生市民会議
 - 第1回～第9回 福生における猫問題と地域猫制度の実施について
 - オ 湧水探検隊
 - 第1回～第2回 湧水の基礎知識（講義）
 - 第3回～第7回 現地調査（市内8箇所）
 - カ 「かんきょう通信」の発行
 - 第12号～第15号
 - キ 福生環境市民会議ホームページの運営
- (2) 福生市環境審議会
 - 第二期第1回 福生市環境基本計画実行計画について（平成17年12月21日）
- (3) 福生市地域新エネルギー詳細ビジョン策定委員会
 - 第1回 新エネルギー最新動向調査について他（平成17年9月28日）
 - 第2回 市内事業所及び一般世帯調査中間報告について他（平成17年11月18日）
 - 第3回 CO₂50%削減に向けたシミュレーション（平成16年12月27日）
 - 第4回 福生市地域新エネルギー詳細ビジョン答申(案)について（平成17年1月17日）
- (4) ふっさ環境フェスティバル（平成17年5月29日）
 - 参加者 1,000人
 - 燃料電池自動車体験乗車会、ソーラーカー展示他

(5) 市民環境大学“たんけん・はっけん・ほっとけん講座”全8回、特別講座2回

第1回 環境フォーラム

基調講演「環境が天気を変えた!？」中村次郎氏(天気キャスター)

パネルディスカッション「市民活動の現状と今後」

パネリスト：清水貞夫、在原博、山西年男

第2回 ガイダンス「環境問題とは」「学習の目標」

第3回 講演「人と動物の関係を考える」

第4回 講演/実演「リサイクルと衣服～服育のすすめ」

第5回 講演「地球温暖化について考える」

第6回 講演「自然エネルギーについて考える」

第7回 講演「テグスやゴミが生き物に与える影響」

第8回 講演「緑地保全とボランティア活動」

第9回 講演「環境問題に取り組むための環を広げる」

第10回 ワークショップ「わたしたちの今後の活動に向けて」

(6) 水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全8回

第1回 ネイチャーゲームで仲間づくり

第2回 環境フェスティバルに参加しよう

第3回 プールのヤゴ救出大作戦

第4回 川の中で遊ぼう

第5回 多摩川カップまつり

第6回 バッタをゲット

第7回 川原で遊ぼう

第8回 多摩川生き物探偵団ーバンディングを見学しよう

第9回 ネイチャークラフトに挑戦しよう

第10回 どんと焼きを見学しよう

第11回 手作り凧揚げに挑戦

第12回 多摩川を歩こう

(7) 水辺の楽校“多摩川の達人になろう講座”全12回

第1回 多摩川とは?～源流から河口まで136kmの概要

第2回 多摩川の水質～バックテスト&水生生物による健康診断

第3回 多摩川で活動するために～水辺の安全確保

第4回 多摩川の魚

第5回 多摩川の源流～水源探訪

第6回 多摩川の昆虫

第7回 多摩川の植物

第8回 多摩川の河口～水の行方

第9回 多摩川の歴史・文化～多摩川と人とのつながり

第10回 多摩川の野鳥

第11回 多摩川の地形・地質

第12回 多摩川らしさ～あなたが伝えたいこと

(8) 福生環境フォーラム(平成18年3月25日) 参加者35人

講演会

「地球温暖化対策、欧州先進市の取組みと福生」

小澤祥司氏(環境学習コーディネーター)

市民報告会

・福生市のかかげるCO₂削減50%のシナリオ 市職員報告

・事業者の進める省エネルギー 篠江幸治氏(武陽ガス社員)

・市民の省エネ行動、気づいた人からはじめよう!

杉森侑氏(福生エネルギー市民会議メンバー)

(9) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	74	55	30	65	89	32	36	17	15	4	42	48
午後				32	127	126	53	6	12	7	15	16
小計	74	55	30	97	216	158	89	23	27	11	57	64

開館日数：130日(土・日曜及び小・中学校夏休み期間)

6 緑化推進事業

(1) 出生記念樹配布(キンモクセイ・ツツジ)

(第1回目)

実施日 平成17年5月21日(土)

対象者 平成16年9月1日から平成17年2月29日生まれまで

該当者数 283人 配布数 94本 配布率 33%

配布内訳 モクセイ(大)25本、モクセイ(小)33本、ツツジ 48本

(第2回目)

実施日 平成17年11月26日(土)

対象者 平成17年3月1日から平成17年8月31日生まれまで

該当者数 278人 配布数 92本 配布率 33%

配布内訳 モクセイ(大)21本、モクセイ(小)33本、つつじ 38本

(2) 花の種子配布

苗の種類	配布数(袋)
ひまわり	1,200
松葉牡丹	400
白花カスミ草	400
金せん花	400
ポピー	400
八重矢車草	400
美女撫子	400
寒咲花菜	400
ハブ	1,800
合計	5,800

(3) 草花の苗配布

苗の種類	配布数(株)
サルビア	16,246
マリーゴールド	18,668
パンジー	28,500
葉ポタシ	8,660
合計	72,074

7 緑化保存事業

(1) 保存樹林地

種別	件数(件)	筆数(筆)	面積(m ²)
宅地介在山林	7	11	6,509.30
一般山林	5	10	3,386.00
合計	12	21	9,895.30

(2) 保存樹木

件数	本数
51件	227本

(3) 保存生垣

件数	個所数	延長
182件	186箇所	4,242m

(4) アメリカシロヒトリ防除事業

実施期間平成17年5月～平成17年9月

箇所数 6箇所

本数 34本